
まだ逢えないあなたへ

近江舞子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まだ逢えないあなたへ

【Nコード】

N4081L

【作者名】

近江舞子

【あらすじ】

まだ逢えないあなたへ。

今日もまた失礼します。

あなたのことを知れば知るほど、「知らない」が増殖します。

まだ逢えないあなたへ。

今日もまた失礼します。

あなたのことを知れば知るほど、「知らない」が増殖します。それは勢いのよい長大な滝のごとく、まるで底が見えません。

あなたの手紙を読めば未だ知らぬ顔を見て、あなたの写真を見れば未だ知らぬ声を聴く。わたしが想像力をたくましくすればするほど、「知らない」が尽きません。

そうやって少しずつ欠片を拾っても、完成に近づくどころか遠のいていくようです。まるで終わりの無いパズル。否、何世紀にもわたってずっと建築中のサグラダ・ファミリア大聖堂かもしれませぬ。年月をかけたとしても出来上がる気配がないのです。とつても重厚な、あなたという存在はわたしの前に大きく立ちふさがっています。出逢った、というか初めてお見かけしたのは、この広いウェブの海の中。つまらない、興味もわかない長い長い一日の仕事も終わりに疲れきった金曜日の夜、偶然見つけたあなたの文章に惹かれ、思わず後先考えず感想のメールを出したのでした。

たしかそれは、はにかむような表情が見えてくる、やさしくかわい文章でした。世界の片隅で、そっと小声でつぶやくように落ちていた言葉で慎重に語っていました。

あなたが一日の始まりを告げる薄明るい朝焼け描けば、わたしには温かいオレンジが滲みました。

あなたが夏の華やかな大花火を描けば、わたしにはさわやかなグリーンが弾けました。

あなたが深夜に眠る穏やかな湖を描けば、わたしには暗いブルーが横たわりました。

あなたがしんと降る雪を描けば、わたしには光るホワイトが跳ねました。

あなたの言葉を通すと、わたしが絶望しきつていたこの世界のすべてが美しく輝いて見えるのです。そして、言わずもがな、わたしは一瞬でああなたの虜になりました。

いつも画面の向こうのあなたのことを思います。あなたは何をみて、何に触れて、何を感じているのでしょうか。今もわたしが知らないあなたのことを知りたい。

けれども、知らないことが無尽蔵に増えても落胆はしていません。あなたの住む美しい世界が、そっとカーテンの隙間から垣間見えたなら、それだけで満ち足りるのです。

あなたは遠い地にいて、みんなのためになる大切なことをしている最中。わたしが近づいては邪魔になる。だから、遠くから見守るのです。それだけは許してください。

まだ逢えないあなたへ。

いつまでも知らないことが増えることを願っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4081/>

まだ逢えないあなたへ

2010年10月21日21時15分発行